

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2014-30789(P2014-30789A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2012-172705(P2012-172705)

【国際特許分類】

**B 0 5 B 3/02 (2006.01)**

**A 6 1 H 33/12 (2006.01)**

**A 6 1 L 9/14 (2006.01)**

【F I】

B 0 5 B 3/02 F

A 6 1 H 33/12 A

A 6 1 L 9/14

A 6 1 H 33/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月18日(2015.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転駆動される回転基板（70）と、ミスト生成用の液体（8）を回転基板（70）に送給する液体送給手段（9）とを備えており、

衝突壁（81）と液体通路（83）とを交互に配置してなる環状の衝突壁列（82）が、回転基板（70）の回転中心を囲む状態で、径方向へ少なくとも二重に設けてあり、

各衝突壁列（82）は、外側の衝突壁列（82）を構成する衝突壁（81）が、内側の衝突壁列（82）の液体通路（83）と対向する状態で配置されており、

回転基板（70）の周方向に係る衝突壁（81）の幅寸法（W）と、回転基板（70）の径方向に係る衝突壁（81）の厚み寸法（T）と、衝突壁（81）の突出寸法（H）とが、 $(W) > (H)$ 、 $(W) > (T)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とするミスト発生装置。

【請求項 2】

回転基板（70）の周方向に係る衝突壁（81）の幅寸法（W）と、回転基板（70）の径方向に係る衝突壁（81）の厚み寸法（T）と、衝突壁（81）の突出寸法（H）とが、 $(W) > (H) > (T)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 1 に記載のミスト発生装置。

【請求項 3】

回転基板（70）の周方向に係る衝突壁（81）の幅寸法（W）と、回転基板（70）の径方向に係る衝突壁（81）の厚み寸法（T）と、衝突壁（81）の突出寸法（H）とが、 $(W) > (T) > (H)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 1 に記載のミスト発生装置。

【請求項 4】

回転基板（70）は、基板本体（80）と衝突壁（81）とを含み、基板本体（80）の厚み寸法（E）と、回転基板（70）の周方向に係る衝突壁（81）

の幅寸法 (W) と、回転基板 (70) の径方向に係る衝突壁 (81) の厚み寸法 (T) と、衝突壁 (81) の突出寸法 (H) とが、 $(E) > (W) > (H) > (T)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 2 に記載のミスト発生装置。

【請求項 5】

回転基板 (70) は、基板本体 (80) と衝突壁 (81) とを含み、基板本体 (80) の厚み寸法 (E) と、回転基板 (70) の周方向に係る衝突壁 (81) の幅寸法 (W) と、回転基板 (70) の径方向に係る衝突壁 (81) の厚み寸法 (T) と、衝突壁 (81) の突出寸法 (H) とが、 $(E) > (W) > (T) > (H)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 3 に記載のミスト発生装置。

【請求項 6】

回転基板 (70) の周方向に係る衝突壁 (81) の幅寸法 (W) と、回転基板 (70) の径方向に係る衝突壁 (81) の厚み寸法 (T) と、衝突壁 (81) の突出寸法 (H) と、衝突壁列 (82) の液体通路 (83) の通路幅 (A) とが、 $(W) > (H) > (T) > (A)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 2 または 4 に記載のミスト発生装置。

【請求項 7】

回転基板 (70) の周方向に係る衝突壁 (81) の幅寸法 (W) と、回転基板 (70) の径方向に係る衝突壁 (81) の厚み寸法 (T) と、衝突壁 (81) の突出寸法 (H) と、衝突壁列 (82) の液体通路 (83) の通路幅 (A) とが、 $(W) > (T) > (H) > (A)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 3 または 5 に記載のミスト発生装置。

【請求項 8】

内外の衝突壁列 (82) を構成する衝突壁 (81) の間に形成される周方向の液体通路 (84) の通路幅 (B) と、衝突壁列 (82) の液体通路 (83) の通路幅 (A) とが、 $(B) > (A)$  の関係を満たすように設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載のミスト発生装置。